

医師の記入し「意見書」が望ましい感染症

感染症名	症状	登園のめやす
インフルエンザ	*感染後1～4日間(平均2日)の潜伏期間 突然の高熱が、3～4日続く 全身症状(倦怠感、関節痛、筋肉痛、頭痛)を伴い、 呼吸器症状(咽頭痛、鼻水、咳)が見られる。	発症後5日を経過し、かつ解熱した後 3日を経過するまで
麻疹(はしか)	38℃以上の高熱、咳、鼻汁、目やにが見られる。 熱が一時下がる頃、小斑点が、頬粘膜に出現 (感染力が最も強い時期)	解熱後3日を経過してから
風しん	*16～18日の潜伏期間 38℃以上の急な発熱とともに細かい発しんが多数、全身に表れる。	発しんが消失してから
水痘 (水ぼうそう)	小さく平らでブツブツ(発疹)が現れ、お腹や顔に現れることが多い。(始めは、虫刺されやあせもに似ている) その後数時間で発疹が膨らんで水ぶくれ(水泡)状になる	すべての発疹がかさぶたになってから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳の下にある唾液腺や顎下腺が腫れることで、丸顔のおたふく面 のようになる	発症後5日後に全身の状態が良ければ 登園可能
結核	咳:数週間以上続く咳 痰:血痰が出る 発熱:たいてい微熱だが、時に高熱を伴う	医師により感染の恐れがないと認める ため
咽頭結膜熱 (プール熱)	アデノウイルスというウイルスが原因で起こる ・40℃前後の高熱で5日前後続く ・眼の白みの部分の充血、目ヤニ ・喉の痛み(咽頭痛)、喉の腫れや赤くなる	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎 (はやり目)	アデノウイルスというウイルスが原因で起こる *5～14日の潜伏期間 非常にたくさん目ヤニが出るため、朝目ヤニで上下のまぶたが くっついたという症状が多い ・目のひどい充血 ・目のごろごろ感 ・耳前リンパ節が腫れ、痛みを感じる場合もある ・風邪と同様に咳が出たり、熱が出たりする場合もある	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状 が消失してから
百日咳	鼻水や咳など、風邪の症状から始まる。薬を飲んでいても、1～ 2週間で咳がひどくなり、顔を真っ赤にして続く咳込みと、急に 息を吸い込むため笛を吹くような音が出ます	特有の咳が消失するまで、又は5日間 の適切な抗菌性物質製剤による治療を 終了するため
腸管出血性大腸菌感染症	平均3～4日の潜伏期間の後、激しい下痢、腹痛で発症。1～2 日後に便成分をほとんど含まない血性下痢が見られる。(38度以 上の高熱はあまり出ない)	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治 療が終了し、48時間をあけて連続2 回の検便によって、いずれも菌陰性が 確認されたもの
急性出血性結膜炎 (アポ口病)	エンテロウイルスが主な原因 *感染から1日で症状が出る 眼球結膜(白眼)に出血が見られるのが特徴	医師による感染の恐れがないと認める まで
髄膜炎菌性髄膜炎	1～14日の潜伏期間の後、頭痛、発熱、首を動かしにくく硬直 が起こる。全身に細菌感染が及んでいるので、急激に症状が悪化 したり、精神状態が変化したりすることもあり、治療しなければ 例外なく死に至ります。	医師による感染の恐れがないと認める まで